

2023年5月22日

横浜ゴムがサポートしたカッレ・ロバンペラ選手が 「FORMULA DRIFT JAPAN」の第2戦で優勝

横浜ゴム（株）がグローバルフラッグシップブランド「ADVAN（アドバン）」のタイヤおよびホイールを供給した2022年WRC王者カッレ・ロバンペラ選手が、5月20日～21日にエビスサーキット西コース（福島県）で開催されたドリフト競技大会「FORMULA DRIFT® JAPAN（以下、FDJ）」の第2戦で優勝しました。同大会の第1戦では「ADVAN」装着車を駆る箕輪大也選手が13歳の若さで優勝しており、FDJ初参戦にして優勝を果たしたロバンペラ選手と合わせ、当社として2戦連続の勝利獲得となりました。

今回供給したのはドライグリップ、コントロール性、耐摩耗性能を高次元でバランスした最強[※]のストリートスポーツタイヤ「ADVAN NEOVA AD09（アドバン・ネオバ・エーディー・ゼロキュウ）」とスポーツ系アルミホイール「ADVAN Racing RS-DF Progressive（アドバン・レーシング・アールエスディーエフ・プログレッシブ）」。「KR69 CUSCO Racing」から「Red Bull GR COROLLA」で参戦したロバンペラ選手は、単独走行の採点によって競われる予選で97点の高得点をマークし1位通過。決勝トーナメントでもアグレッシブながらスムーズな走りと緻密なコントロールを見せ、順調に勝ち上がって優勝を果たしました。当社は若き天才ドライバーとして世界中から注目を集める同選手の優勝を足元から支え、「ADVAN」のハイパフォーマンス性を強烈に印象付けました。 ※当社商品中

ロバンペラ選手はフィンランド人のリードドライバー。2020年からフル参戦を開始したWRCでは2021年にシーズン2勝でドライバー選手権4位にランクインすると、翌2022年には史上最年少記録となる22歳でドライバーズチャンピオンを獲得。今期のWRCでも5月11日～14日にポルトガルで開催された第5戦で優勝しています。8歳までにドリフト走行をマスターするなどドリフト競技への造詣も深く、ドリフトマスターズ・ヨーロッパ選手権にもスポット参戦しています。

「FDJ」は米国の「FORMULA DRIFT®」のインターナショナルシリーズ。日本発祥のモータースポーツであるドリフト走行により競われ人気を博している「FORMULA DRIFT®」を逆輸入するかたちで、2014年から開催されています。

横浜ゴムは2021年度から2023年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のタイヤ消費財事業において高付加価値商品の主力である「ADVAN」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」、そして「ウインタータイヤ」の販売構成比率最大化を掲げています。その中で、モータースポーツ活動を技術開発および「ADVAN」「GEOLANDAR」ブランド強化の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまで国内外の多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦しています。



ドリフト走行を披露する
「Red Bull GR COROLLA」



「ADVAN NEOVA AD09」に
手を添えるカッレ・ロバンペラ選手

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田

TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552